

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月27日

事業所名 多機能型事業所 ちゅうりっぷ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	40%	60%	小上がりで休憩している子どものバギーや車イスは廊下等で保管している。	設置基準は満たしているが、今後利用者の人数によっては手狭に感じる事もあると思われる。事業所のレイアウト等工夫する事でスペースを確保出来ると思われる。又、会議室等を適宜利用者の人数や活動によって使っている。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	基準に沿って適切に配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	全面バリアフリー化されており、トイレも車椅子で入室可能。又、機械浴等の設備を利用した人の利用者のおむつ交換も安全に対応出来ている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	全ての行事や活動は企画書の下実施。終了後、報告書を参考に職員会議で振り返り評価している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	今年度はコロナ等の感染症対策を徹底し個別面談実施を検討。保護者とは日々の送迎時等を利用しコミュニケーションを図り要望や情報等職員全員で共有している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	相談システムを利用し相談員に評価して頂き、指摘された事項は直ぐに改善に取り組む準備は出来ている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	必要に応じて参加している。又、法人虐待防止委員会主催の研修は全て参加し情報を全職員で共有している。	様々な研修に参加し業務の質の改善に繋げている。又、自己研鑽の機会も設定している。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	アセスメントにて保護者と子どものニーズを聴取、課題を分析し解決に向け個別支援計画書に反映している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%	独自のアセスメントツールを利用し保護者から聴取する事で自宅の様子と事業所での様子と様々な面から確認している。	個別対応したツールではなく、全体としてツールな為改善の余地がある。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	会議で話し合い全体で計画している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	慣習行事や、外出行事等適宜組入れ固定化しないよう工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	形態に合わせた活動を設定し対応している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	子どもの性格や障害特性に合わせて対応している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝の打合せに管理者参加の下、全員で確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	夕方の打合せに管理者参加の下、全員で確認、共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	記録を充実させる事で検証や改善に活用している。	
	18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	年2回支援会議を実施、緊急性等がある場合等も都度対応している。	
関係機関や保護	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	100%	0%	研修会議等で読み合わせを行い、理解した上で支援している。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	ケース担当職員及び児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	必要に応じて適宜行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医や看護師、SW等関わる方達とのカンファレンスに参加。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	担任から直接話を聞いたり、保護者を通したり連携体制確保の準備はしている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	事業所見学等の情報共有や相互理解の機会を設定している。	

者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	研修に積極的に参加する準備はある。	今年度は事業所の開所日と重なり研修に派遣出来ていない。又、専門機関等から助言を受ける等の連携は出来ていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	保育園や幼稚園等と定期的に交流を図っている。	事業所としての交流は出来ていないが、各々学校での交流の様子は共有している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		今年度は参加の機会が無かった為参加出来なかったが、機会があれば積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	利用毎に記載している連絡帳や、送迎時コミュニケーションを積極的に行う事で状況や、共通理解を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		ペアレントトレーニング等は実施していないが、保護者の相談は真摯に対応し共有している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	丁寧な説明を心掛けている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者の相談を傾聴し出来る限りの支援をしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		事業所主体の保護者会は対応していないが、都度、保護者に障害に対する啓蒙活動の案内や保護者間の連携を支援している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情や要望があった場合、直ぐにその日の打合せで全職員が共有し、対応する準備を整えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	今年度から会報誌「えがお」を定期発行の他に号外号や特別版等として発行している。保護者に子ども達の様子を詳細に報告している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の取扱いについて同意書を準備し、確認後押印して頂き厳重に管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	保護者との情報の共有や子どもの様子について常に配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	開かれた事業所運営を目指してボランティアや実習生等は積極的に受入れている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20%	80%	保護者の方には契約時に説明し、職員は研修会議等で読み合わせをし確認している。	次年度は保護者への周知を丁寧に対応します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	毎月避難訓練に積極的に参加している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎月のSDSチェックや研修会議等で確認している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	毎月の職員会議で拘束継続の適正について話し合い家族に説明している。	他事業所で拘束の事案が発生した際には、対応等について当該事業所の対応と照らし合わせ適切に対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	契約時に保護者の情報を基に栄養士と連携し適切に対応する準備はあるが、事例が無い。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0%	100%	毎月の職員会議や他研修会議等で事例があった時は全職員が確認し共有している。	事業所内では些細な事例でも取り上げ、全職員で情報を共有し意識の向上を図っていく。